

2024年10月1日

各国公私立大学学長様  
各国公立研究所所長様

公益財団法人古泉財団  
審査委員長 高橋 姿  
( 公 印 省 略 )

### 古泉財団研究費助成金の申請手続について

拝啓 時下 ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、古泉財団研究費助成金は、理事会における審議を経て、2025年度以降、助成対象を一部変更し、研究の緒についての方が行う「食に関する将来性のある研究」を支援することといたしました。

古泉財団審査委員会は、食料産業、食と健康、食文化と食育など、幅広く将来性のある研究を支援するため、古泉財団研究費助成金の申請手続を整理いたしました。

つきましては、下記のとおり通知いたしますので、これからの時代を牽引する人材が集まる助成金となるよう、各大学・研究機関との相互協力メカニズムを構築いたしたく、ご理解とご協力をお願いいたします。

敬具

### 記

#### 1. 基本的な考え方

古泉財団研究費助成金は、学生及び教職員が研究期間の初期に取り組む外部資金として位置付け、自ら研究計画を立案し、外部の有識者の評価を受けて、助成金の獲得経験を積まれることを主眼とします。

古泉財団研究費助成金は、新潟県内の大学・研究機関の長が推薦する食に関する将来性のある研究を対象とし、研究の萌芽を育てる助成金の趣旨に鑑み、研究の緒に就いた方（具体的には、大学院生の方、大学における助教相当の職位にある方、大学院へ進学を希望する学部生の方及び新たに食に関する研究に取り組む教職員の方を言います。）を積極的に採用する方針としています。

古泉財団審査委員会は、研究の将来性と研究者自身の成長を重視し、また、ダイバーシティ推進の視点に立った教育・研究環境の整備を促進するため、外部資金獲得に向けて真剣に取り組まれる方、特に女性及び外国籍の方の申請を歓迎いたします。

各大学・研究機関での内部選考におきましては、研究の緒に就いた方を優先的に推薦して頂き、大学における教授等の職位にあり、他の教職員に対して指導的立場にある方の推薦は、ご遠慮頂きますよう、お願いいたします。

## 2. 申請者について

(1) 大学院生の方、助教相当の職位にある方、新たに食に関する研究に取り組む教職員の方  
食に関する研究について、学術的意義を明確にした具体的な研究計画を立案する必要があります。  
ただし、現時点における研究レベルや熟度は、問わないものとします。

(2) 学部生の方

上記(1)に加えて、大学院への進学を前提に、担当教員が指導する研究に取り組むことを条件とします。  
また、卒業論文作成のための研究費として申請することができます。

## 3. 推薦方法について

(1) 内部公募

各大学・研究機関において、学生及び教職員の方へ周知頂き、申請者の内部公募をお願いいたします。

(2) 内部選考

応募があった研究について、学内・研究所内での内部選考をお願いいたします。

内部選考におきましては、大学・研究機関の推薦として相応しい研究の選定をお願いいたします。

助成の種類（社会科学系・自然科学系）は、在籍学部ではなく、研究内容で判断をお願いいたします。

(3) 推薦書

学長・研究所長による推薦書の作成をお願いいたします。

推薦書は、内部選考において評価された点を明確にして、人柄や研究についての客観的な評価（経歴、研究への取り組み方、研究の意義や発展性など）をもって、推薦理由の記載をお願いいたします。

## 4. 審査方針について

(1) 基本方針

古泉財団審査委員会は、評価される研究論文に共通する要素である「わかりやすさ」を重視します。

全体として、研究内容を第三者が理解できるよう、丁寧な記載をお願いいたします。

(2) 研究計画

古泉財団審査委員会は、研究計画が助成金の趣旨に合致することを重視します。

全体像を示し、研究の目的から評価検証まで、丁寧な記載をお願いいたします。

(3) 研究の将来性

古泉財団審査委員会は、研究の将来性と研究者自身の成長を重視します。

研究成果の公表方法（学会発表、論文投稿等）と研究の将来的な見通しの記載をお願いいたします。

## 5. その他

本通知をもって、2022年3月11日付審査委員長通知「今後の古泉財団研究費助成金の応募にかかる留意点等について」を廃止いたします。

以上